

宮古港

- 平成25年度に港湾施設37施設全ての復旧を完了。
- 竜神崎防波堤はケーソンが110mにわたって転倒・水没したものの、震災から2年後の平成25年5月には復旧を完了し、平成27年10月に全てのケーソン据付が完了。

項目	進捗率	復旧・復興の状況/被害の状況
竜神崎防波堤 出崎防波堤 藤原埠頭岸壁 等	100%	竜神崎防波堤 復旧済延長90m/被災延長90m 出崎防波堤(代行含む) 復旧済延長378m/被災延長378m

被災と復旧状況



【鉾ヶ崎地区】津波襲来状況



【出崎ふ頭】津波にのまれたふ頭



被災直後の竜神崎地区防波堤

平成25年5月復旧完了



平成27年10月に全ケーソンの据付が完了した竜神崎防波堤

↓藤原地区第二ふ頭(-10m岸壁)



地域の要望に応えた復旧

出崎防波堤の被災や、地盤沈下(約50cm)により、港内の岸壁まで波が打ちあがるようになり、貨物輸送に支障をきたしていました。利用者からの強い要望を受けて、大型作業船等を投入し、震災からわずか1年半、平成24年8月中旬には出崎防波堤を概成しました。



起重機船によるケーソン吊上



復旧前



復旧後



「はまゆう」打設状況



CP船「日本海号II」

生コン不足への対応

災害復旧工事の実施にあたり、生コンクリート等の資材不足が深刻化し、工事進捗の足かせになることが懸念されたため、関係者との調整会議を設置して調整を図るとともに、海上で生コンクリートを製造できるコンクリートプラント船(CP船)2隻を配船し、対応しました。